

総合交通メールマガジン

第49号

平成24年7月31日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）

目次

地域の取り組み紹介

- ◆新潟市が目指す公共交通体系とBRT導入に向けた取り組み
(新潟市 都市政策部 新交通推進課)

最近の国の動き

- 社会資本整備関連、道路施策等最近の話題をお伝えします —

イベント紹介

- ◆【8/10~~×~~切】「再生塾-持続可能なまちと交通をめざして」
アドバンスド・コース（第5期）を開講いたします。

総合交通体系グループだより

- ◆地域モビリティ確保の知恵袋2012～ 災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～
いつでもご質問等対応します
- ◆銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました
- ◆総合交通体系グループ紹介（新組織第1回 有田政策企画官）

Information

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！
- ◆～受付窓口の変更がありましたらご連絡ください～

編集後記





地域の取り組み紹介

◆新潟市が目指す公共交通体系とBRT導入に向けた取り組み (新潟市 都市政策部 新交通推進課)

本メールマガジンをご購読の皆様でしたらご存じの方も多いと思います、BRT (Bus Rapid Transit)。最近では、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた鉄道路線の復旧にかかる議論、報道等で耳にすることも多いかと思えます。



このBRTについて、新潟市が、都市の総合的な交通体系整備の一環として導入することを発表しました。先日編集者Nも新潟に伺った際、市役所によらせて頂き、ご担当の方より大変興味深い話をお聞きすることができました。この新潟市における導入に向けた取組について、私がお聞きした話を含めて、これまでの経緯、今後の取り組み等紹介頂きましたので、是非ご覧下さい。なお、導入に向けて、本稿だけでは紹介しきれない様々なご苦労等もあるかと思えます。新潟市の方より、ご興味のおありの方は是非お問い合わせ下さい、とのことでした。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1207niigata.pdf>

《参考↓ (新潟市 HP より : BRT 紹介の動画等があります。おもしろいですよ)》

<http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/doro/kotsu/newsystem/basicplan.html>



最近の国の動き

() 内は情報元の組織です

◆社会資本整備全般 (総合政策局)

～「持続可能で活力ある国土・地域づくり」に向けて～

「国土交通省は、このたび、我が国が直面する人口減少、少子高齢化、財政制約、さらには震災を契機としたエネルギー制約等の課題を克服し、子ども達や孫達の世代にすばらしい国土を残すための主要政策「持続可能で活力ある国土・地域づくり」を取りまとめました。これは、「持続可能な社会の実現」、「安全と安心の確保」、「経済活性化」、「国際競争力と国際プレゼンスの強化」という4つの価値を実現するために、「低炭素・循環型システムの構築」をはじめとする8つの方向性を定めた上で、それぞれについて主要政策をまとめているものです。これらの主要政策の多くは「日本再生戦略」(平成24年7月31日閣議決定)にも盛り込まれており、今後、予算要求や税制改正要望、制度改正等を通じて、施策の具体化を図ることとしております。(7/31 記者発表抜粋)

国土交通省が「持続可能で活力ある国土・地域づくり」に向けて、どのような事に取り組





む方針か、是非ご覧下さい。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo08_hh_000069.html

◆公共交通施策関連 (自動車局)

～新高速乗合バス制度について～

既に、新聞、テレビ等で報道等されており、世の中の関心も非常に高い「高速バス」施策ですが、以下のとおり7/30に新高速乗合バス制度について公表されましたのでお知らせします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000123.html

◆道路施策関連 (道路局)

～東京五輪から半世紀近く～

「東京五輪に合わせ緊急的に整備されてから、既に半世紀近くが経過し、高齢化が進みつつある首都高速道路について、再生の基本的な方針について検討するため、「首都高速の再生に関する有識者会議」を設置します。(HP 抜粋)」

首都高速について、「老朽化」の課題に限らず、都市の交通機能など多様な議論が展開されており、他の地域においても参考になるのではないのでしょうか。現在のところ会議開催も4回を数えています。

<http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/syutokou/index.html>



イベント等紹介

**【8/10×切】「再生塾-持続可能なまちと交通をめざして」
アドバンスド・コース (第5期) を開講いたします。**

5月末発行の第47号で、「基礎編」をご紹介した、交通に係る人材育成の取組の「応用編」のご紹介です。「基礎編」は定員を超える応募があり、70名の参加者で大いに盛り上がったそうです。関西地域における取組ですが、是非ご興味のある方はご覧下さい。

《詳細はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1207saisei.pdf>

※ご購入の方々からのイベント情報、耳より情報お待ちしております。また、イベント主催者の方々も、このメーリングリストも広報の場として活用頂ければ幸いです。(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)





総合交通体系グループだより

◆地域のモビリティ確保の知恵袋2012

～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～ いつでもご質問等対応します

前号でご紹介した、「知恵袋2012」ですが、幾つかの自治体の方より問い合わせ、ご質問等頂いております。年に1,2度、市町村の皆様が一堂に会する機会など設けている都道府県もおり方お思います。そのような機会を通じて、本資料等ご紹介頂ける様でしたら、是非よろしくお願ひします。当方はいつでも、ご質問等対応いたしますので、何かありましたら本メルマガ最後の連絡先まで、ご連絡下さい。

《知恵袋2012～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～はこちらから↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000037.html

《できましたら「知恵袋2012」アンケートへのご協力もお願いします↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/anketo2012.doc>

◆銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました

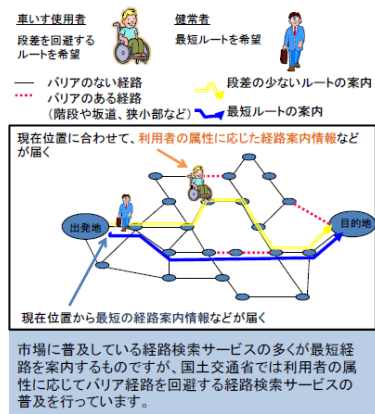
第45号で「ICT特集」を組みご紹介しましたが、国土交通省で進めている「歩行者移動支援システム」について、当グループの4月新入り職員「寺西」による体験視察記をご紹介します。最後の「オチ」は、期待しないで下さい。中身で勝負です。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1207taiken.pdf>

《参考（銀座地区の取組：メルマガ第43号既報）↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1201idousienn.pdf>



◆総合交通体系グループ紹介

新組織第1回 有田政策企画官（総合交通体系担当）

前号でお知らせしましたように、総合交通体系を担当するグループは、総務課へ組織変えとなりました。新組織での第1回として、政策企画官（総合交通体系担当）の有田より、グループ紹介をスタートします。生活を支える総合的な交通体系について、どのように考えを進めていくか、少しまじめに紹介しています。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1207sitiuinn.pdf>



このくらい透けて見ると良いですね、生活を支える足（移動手段）の課題も





Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当室では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

例えば、・低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み(交通の再編等)
・交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて76件の取り組みを紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。(連絡先の追加でも結構です)

なお、変更内容については、右記連絡先までお願いします。 E-mail : soukou@mlit.go.jp

◆総合交通体系グループの所在

《地図はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1204itizu.pdf>





編集後記



ロンドンオリンピックが始まりました。開会式前から男子、女子サッカーに興奮し、開会後続々と続く日本選手の活躍に喜び、目標を前に敗退した選手を励ましつつ、睡眠時間を削りながら、4年に一度のお祭りを楽しまれているのではないのでしょうか。

このオリンピックの舞台がロンドンと決定されるにあたり、「会場利用の点で、これまでで最もコンパクト」「既存施設を多数活用」と言ったことが評価されていたと記憶しています。

実際のオリンピック・パーク整備にあたっては、観客が公共交通機関、徒歩、自転車によって会場に行けるよう、会場移動に特に重点を置いて計画が進められたそうです。35kmに及ぶ歩道・自転車専用道路の整備や貸自転車スキームの拡充、地下鉄の輸送力増強のほか、観客輸送のため、ユーロスターの発着するセントパンクラス駅とオリンピック・パークのあるストラトフォード国際駅を直結する高速鉄道が運行される（※）など、まさに「総合的な交通体系」の整備が進められています。

オリンピックと交通基盤整備、交通サービスの提供はこれまでもいろいろな形で話題となっています。前回の北京オリンピックと高速鉄道整備（脱線事故から1年経過したあの鉄道です）、本号で国の取組としてご紹介した、東京オリンピックと首都高速の整備、視点はそれぞれ違いますが、世界最大の祭典はその国の「交通」の面にも大きな転機をもたらしてきた事を実感します。

今、東京が2020年のオリンピック招致に名乗りを上げています。東日本大震災などからの日本の「復活」を旗印に。開催が決まれば、前回の東京オリンピックからの時間経過を踏まえた新たな「交通」のあり方に思いをよせ、大きな転機にしていくチャンスかもしれません。つい先日ロンドンが開幕した中で、気持ちが先走っていますが、どのような結果となるか今からドキドキしますね。ちなみに決定は2013年9月7日です。

※出展：http://www.clair.or.jp/j/forum/forum/pdf_271/04_sp.pdf

【おまけ】当室の女性陣が最近出会った「[東京の美味しいお菓子](#)」第4弾。今回も、場所は第3弾と同じ東京駅です。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/okashihime4.pdf>

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課 野津隆太（総合交通体系グループ）

※7/1より、総合政策局総務課となりました

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：soukou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

